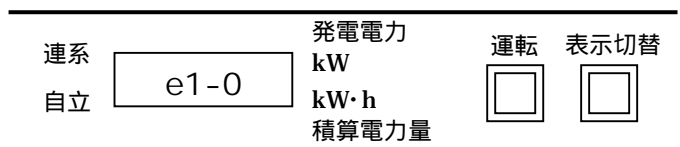
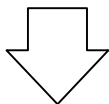


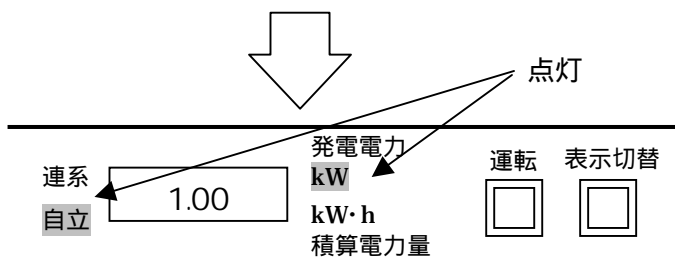
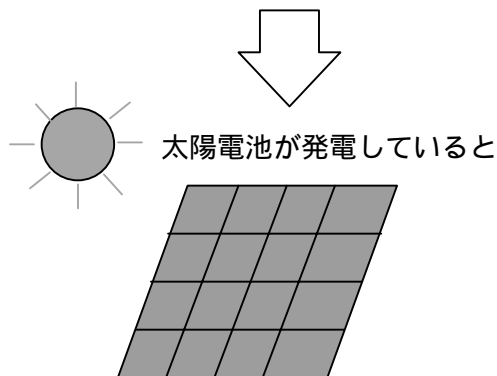
2.3. 停電時の使い方（自立運転）

パワーコンディショナは、停電などにより電力会社から電力が供給されなくなっても、太陽電池が発電する電力を使用することができます。ここでは、その方法について説明します。

- ・PV分岐ブレーカを‘オフ’にしてください。
（交流側）



オフ



運転スイッチを
‘オン’にしてください。



オン

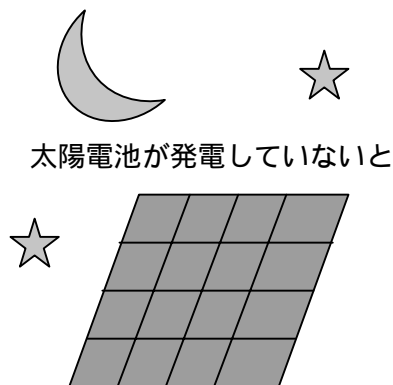
自立ランプが点灯し、運転を開始します。

△ 注意

必ずPV分岐ブレーカをOFFにした状態で以降の操作を行ってください。
コンディショナが故障する恐れがあります。



- ・表示部に「e1-0」、表示部の中央に「.」、または、カウントダウンが表示されていれば、太陽電池は発電しています。
- ・連系運転で発電していた場合、運転スイッチを一度‘オフ’にしてください。



太陽電池が発電するまで、すべての表示は消灯します。

停電用コンセント（AC100V / 15A）に使用したい機器を接続してください。

運転を停止させる場合は、運転スイッチを‘オフ’にしてください。

運転を停止した後、PV分岐ブレーカを‘オン’にすると表示部にカウントダウンを表示します。

接続する機器の電力の最大が1.5kVA以内（AC100V 最大15A以内）になるようにしてください。

発電量は天候により変化しますので停電すると困る様な機器（パソコン、医療機器等）は接続しないでください。また、掃除機や冷蔵庫など、電流が急激に流れる機器を使用すると、保護機能が働き停止することがあります。